

爽風

神戸市シルバーカレッジ情報誌
2022年7月 第211号



「神戸市シルバーカレッジ学舎」 絵画ボランティアグループ 美工 27期 河合 信夫

目次

2~5	ボランティア活動報告会
6~7	新入生歓迎交流会
8	教室だより
9	先生インタビュー
10~11	サークルだより
12	グループわ だより、ジョイフルクッキング
13	文芸サロン
14	トピックス
15	掲示板、事務局だより、図書室だより、編集後記
16	Photo News (新入生歓迎交流会、ボランティア活動報告会)

情報誌編集委員会では、カレッジ内外の活動も含めて写真・記事の投稿をお待ちしています。
「爽風」への情報提供・ご意見は、次のホームページからお寄せください。

<https://ksc-sofu.net/> スマホからは右のQRコードを読み取ってアクセスできます。



【ボランティア活動報告会(6月8日)】

はじめのこトバ

ボランティアセンター代表 上山 光晴
みなさん、おはようございます。「ボランティアセンター」、通称「ボラセン」の代表、民謡同好会の上山です。本日は、「第25回ボランティア活動報告会」にお越しいただきありがとうございます。



「ボラセン」は、シルバーカレッジ開校の翌年1995年、阪神・淡路大震災当時、多くの学生が建学の精神「再び学んで、他のために」のもと自主的に救援物資のボランティア活動に参加したのがきっかけで誕生し、現在に至っています。

「ボラセン」の28サークルは、文化・芸能・スポーツ・園芸・調理などを、ボランティア活動に生かしながら取り組んでいるところに特色があります。全国の老人大学でもほとんど例を見ない、素晴らしい取り組みだと言われています。

「ボラセン」で好きなことに取り組み、その成果を披露して多くの人に喜んでもらえる。ボランティア活動をしていると、ただ好きなことをしているのとは違う元気や充実感さらには生き甲斐を感じます。この報告会を機にボランティア活動に関心を持っていただき、さらには参加していただけたら、幸いです。

さて、本日のこの報告会は、日頃のボランティア活動の成果を発表する日として実施されたのが始まりです。新型コロナのため、ここ2年間、6月のこの報告会が実施できませんでしたが、今年やっと再開することができました。関係各位の皆さんに深く感謝申し上げます。今日は、「ボラセン」の日頃の活動の様子・成果をごゆっくりご覧ください。

事務局長あいさつ

シルバーカレッジ事務局長 澤田 靖
皆さま、おはようございます。事務局長の澤田です。ボランティア活動報告会にお招きいただきましてありがとうございます。2年ぶりのボランティア活動報告会開催は、嬉しい限りです。そして皆さまの日頃の活動に敬意を表します。



シルバーカレッジは、阪神淡路大震災の2年前に開学され、「再び学んで他のために」がスクールモットーとして引き継がれています。

私は阪神淡路大震災の時に長田区役所に勤務しており

ましたが、たくさんのボランティアに助けいただいたことを思い出します。しあわせの村でもカレッジの皆さんが、いち早く救援活動に尽力され、ここにちの「ボランティアセンター」や「グループわ」につながっています。

個人的には、以前は「ボランティア活動は献身的に社会活動する」のイメージでありましたが、今では色んな形態があり、「それぞれが楽しみながら活動する」に変わってきたと感じております。

これからもコロナの感染防止に注意しながら、自分自身楽しんで、長くボランティア活動を続けてください。

おわりのこトバ

ボランティアセンター副代表 高野 晃久
ボランティアセンター副代表の高野です。



本日は、多数の方のご参加をいただきありがとうございます。

前田学長もお忙しい中、最後までご観覧いただきましてありがとうございます。カレッジ事務局の皆さま、ご協力ありがとうございました。

本日のために準備、出演、展示された関係者の皆さま本当にありがとうございました。

さて、本日は、パワーポイントを使つての活動報告、ならびにパフォーマンスによるクラブの紹介をカレッジホールにて行いました。また、ふれあいホールでは、ボランティアグループの活動成果の展示や販売などが行われました。教室では体験会などボランティアグループの活動成果報告が行われましたが、皆さんお楽しみいただきましたでしょうか？

われわれのカレッジには、ご覧いただいたグループ以外にも個人的に行ったり、グループわの中で活動されている多数のボランティアがいらっしゃいます。

当カレッジにもボランティアの要請が多数あったとお聞かしていますが、ここ数年は新型コロナの影響でボランティアの要請もほとんどなくなっていました。しかしながら、新型コロナもかつての猛威も収まり、いよいよWITHコロナの時代になり、これからは徐々に戻ってくるものと思います。この新しいwithコロナの機会を捕まえて、我々自身もWITHコロナに合わせて変化すべきものは変化し、今日を新たなスタートとして積極的にボランティアを進めていこうではありませんか。皆さんよろしく願いいたします。

ボランティア各団体の活動報告

ボランティア28団体中、25団体(NPO法人グループわを加え26団体)から日頃の活動成果が、カレッジホールでパワーポイントを投影しての説明或いはパフォーマンス、ふれあいホールでの展示・販売と活動内容に即した方法で発表されました。

【パワーポイントによるグループ紹介】

◆KSCスポーツ吹矢グループ

園芸28期 高野 晃久
スポーツ吹矢は、腹式呼吸による心肺機能の活性化、誤嚥防止効果、集中力と爽快感など効果満点の手軽なスポーツです。今年の5月にグループわの「わいわいストリート」に子供体験のボランティアで参加しました。感染防止のため、

体験者に専用の吹矢セットを準備し、体験後そのまま贈呈しました。コロナ禍を逆手に取った作戦で、大いに成功しました。時代に合った方策で今後もボランティア活動を続けてまいります。



◆KSC 英語点字グループ

国際 28 期 片山 知栄子

英語点字は地味ですが、「再び学んで他のために」になるボランティア活動で、ライフワークになる活動です。

点字は専用ソフトを使いパソコンで作業を行うので誰でも簡単にできます。完成した点訳文は点字印刷機で点字本になり、製本が終わったら東南アジアの視覚障害者施設や点字図書館に寄贈し、またそれら施設の支援も行き、時々現地施設の訪問も実施しています。卒業後も同期の会員同士での活動が続き、

親睦・交流の場となっ

ています。英語やパソコ

ンが苦手な人でも、点

訳をしているうちに英語

に親しみ、パソコン操作にも慣れてきます。また

英語が得意な人は、英語の本を読む楽しみが増えます。



◆KSC イベントぴかぴか隊

生環 27 期 兼井 孝政

「神戸まつり」、「神戸マラソン大会」、「ルミナリエ」など、神戸市内のさまざまなイベントに参加し、楽しみながらそれぞれのイベントに添ったボランティア活動をしています。今年の 1 月 16 日は「阪神淡路大震災 1・17 のつどい」のために、周辺の清掃とろうそくを浮かべる竹筒に水を注ぐ作業を行いました。11 月 20 日に行われる第 10 回神戸マラソン大会にもコース(沿道)整理で参加します。皆さんのイベントぴかぴか隊への参加を期待しています。



◆ケナフの会

美工 27 期 小西 玉美

この度のボランティア報告会では、パワーポイントによる活動内容の紹介と共に、ブースでは初めて割引セールを行い、ケナフ染めのストールやハンカチなどを販売し大変喜んでいただきました。

また 6 月 28 日の染め体験の参加者を募るため、ブース後方でハンカチの絞り体験をアピールしました。染め、紙漉き、炭焼きなど、私たちと一緒に楽しみませんか？見学をお待ちしています。



◆NPO 法人グループわ

グループわ 広報 竹内 順子

グループわ は、シルバーカレッジに入学して 3 年間で「再び学んで他のために」のボランティア精神を学んだ後、ボランティア活動をする現役・OB・OGの皆さんが所属する団体です。令和 4 年度の会員数は 1,159 人(6/10 現在)で多くの皆さんが所属されています。20 年以上の活動実績など、神戸市の皆さまから高く評価されています。皆さん一緒に活動しませんか！



【パフォーマンスによるグループ紹介】

◆人形劇「ゆめ」

健康 28 期 外池 兼二

毎年学園祭に向けての新作を検討した結果、今年の新作は

「泣いた赤鬼」に決定しました。台本作りから取り組み、OB の方にも手伝っていただきなんとかできあがりました。本年は新入部員が 4 人参加して活気にあふれています。現在は「泣いた赤鬼」の舞台背景の作成に取りかかっています、私たちクラブ員みんなで得意不得意をこえて、白布に絵の具で下絵を描き、彩色して作成していきます。赤鬼の家はこんな感じかな、青鬼の家はどうだろうなどと考えるのは難しくもあり楽しくもあります。皆さんに早く見ていただけるよう頑張りますのでご期待下さい。



◆KSC 男声合唱団

音文 28 期 古川 宗

KSC 男声合唱団は 2000 年に発足し、団員数は OB51 人と在校生 7 人です。5 月 11 日に、介護老人福祉施設「ぼー愛」へボランティア演奏に出向き、好評を博しました。コロナが終息してくれば訪問演奏で忙しくなりそうです。上の写真は、訪問演奏の様子です。下の写真は、学園祭参加時のオリンピックカラーのポロシャツでの集合写真です。本年 10 月 22 日に、第 8 回定期演奏会を神戸文化ホール・大ホールにて開催します。多くの方のご来場をお待ちしています。男声の迫力ある歌声を、お楽しみください。



◆KSC マジック同好会

食文 27 期 小田 妙子

今回は、主に 4 月に入会した新入の演技でした。短期間でしたが、一生懸命、少々間違ってもお笑いでカバーして和気あいあい、笑いの絶えない練習の日々、そして本番は少し緊張気味でしたが、楽しんで堂々と演じ、大きな拍手をいただきました。今後も、楽しく！をモットーに、たくさんの技を習得し、ボランティア活動に、学園祭でも、楽しんでいただけるマジックを目指したいと思います。



◆混声合唱団コーロ KSC

国際 28 期 谷口 清

混声合唱団コーロ KSC は在校生と OB 合計 36 人が 6 曲を合唱しました。今回の主題は、新入生歓迎の気持ち、混声合唱の魅力を伝えることでした。1 曲目は当カレッジの校歌を、斉唱ではなく四部合唱で歌いました。2 曲目の「歓迎の歌」は当合唱団を長年指導された守屋先生作詞作曲の曲です。後半の 4 曲はシニア世代のヒット曲を混声合唱用に編曲した曲で、「 Gondola の唄」「東京ブギウギ」「恋のバカンス」及び「瀬戸の花嫁」でした。



◆KSC アロハワイアンズ

国際 28 期 吉田 寛

6 月 5 日灘区摩耶ケーブル近くの有料老人ホームをフラガール 6 人とスタッフ 2 人で友愛訪問しました。念入りにメイクし、ステージ衣装に着替えて 6 人の乙女はステージへ。フラダンス 4 曲を立て続けに披露し 70-80 歳? の観客 20 人を魅了しました。いよいよメインイベント、施設のご老人とちよいと若いフラガールとのコラボフラダンス。「盛り上がってるなあ」と関係者大喜び。30 分間のボランティア活動が終わりました。



◆あかりの会

食文 28 期 矢野 みどり

今回 2・3 年生を中心に演じたのは、太宰治の「失敗園」。これまでの朗読とは違う朗読劇という新しいジャンル。最小限の動きと言葉の力で、いかに荒れ果てた庭での野菜たちの嘆きを伝えられるか、今の自分たちのできる精一杯の力で演じました。楽しんでいただけたでしょうか。次回は今回応援してくれた 1 年生とともに頑張ります。



◆手話ソング

生環 27 期 納 文男

全員そろって練習する機会が少なく心配していましたが、本番では全員まとまって、きれいに演じることができたと思っています。一年生にとっては初めての舞台でしたが、先生方の指導の下、自信を持たれたと思います。来週から学園祭に向けてスタートします。皆さん一緒に、手話ソング！まずは、見学にお越しください。



◆楽遊グループ（銭太鼓）

園芸 27 期 八嶋 日出子

コロナ禍のため施設訪問はありませんでしたが、今年は神戸まつりの代替イベント「神戸元気まつり」にOBの応援出演をいただいて参加しました。今回の報告会は OB10 人の応援出演と在校生 4 人で「ソーラン節」など 3 曲を披露しました。1 曲ごとに拍手をいただき、とても盛り上がった舞台になりました。



◆KSC 民謡同好会

食文 28 期 上山 光晴

観客の皆さんの「手拍子」、「お囃子」、「踊り」で楽しい民謡になりました。「斉太郎節」では、皆さんの「手拍子」で景気よく



唄うことができました。「デカンショ節」では、皆さんの「お囃子」で盛り上がりました。「九州炭坑節」では、約 40 人の「踊り」の輪が広がりました。

◆フォークダンスグループ

生環 28 期 小田 定子

月 4 回金曜日の午前中に、しあわせの村内たんぼぼの家の多目的ホールで、シルバーカレッジの O B の方も含め約 30 人の会員で楽しく踊っています。フォークダンスは、激しい動きもなく、何歳になってもできて良い運動になります。曲のリズム、足のステップなど覚える事も多々あります。脳の活性化につながり、また可愛い衣装で踊る事に、新鮮で新たな喜びを発見できると思います。私たちと、笑って楽しく華やかに、一緒に踊りましょう！



◆KSC オカリナチーム

国際 28 期 大和 一郎

私たちは、ボラセン報告会の発表曲に 3 つのテーマ「追憶」「青春」「感謝」に絞り、演奏曲は「思い出」「待つわ」「いのちの歌」を選曲しました。半世紀前の若いころの出来事を思い出し、生きることへの喜びを感じていただけたら幸いです。これからも、少しでも、オカリナの素敵な音色に感動していただけるよう、練習に励んでいきます。



◆KSC ハーモニカグループ

健福 27 期 矢倉 やよひ

ハーモニカグループは嬉しい事に 11 人の新入部員を迎える事ができました。報告会当日に初舞台を踏んだ部員は「ドキドキして緊張しました!」、「最後まで頑張って吹けました!」そして「すごく感動しました!」と感想を寄せてくれました。私達はこれからも練習を重ね、コロナ禍で休止していたボランティア活動を再開したいと願っております。



【ふれあいホール パネル展示・作品展示・販売】

◆救急ボランティアしあわせ

生環 28 期 森下 利広

目の前であなたの家族、仲間、友人が突然倒れ意識がなくなったら…！素早く、救急車・AED の手配、心肺蘇生をして、命を救う行動がとれますか？私たちは、市民救命士・インストラクター資格を取得し、救護活動を通じて社会に貢献することを目指し、日々活動しています。活動報告会では、一人でも多くの方に「救命措置の重要性」への認識を向上させ、「自分も命を救う行動を取りたい」と思っていたら、救急活動の実演と体験指導を行いました。



◆「ガーデニング」グループ

園芸 28 期 大野 純一

花苗販売を例年通り実施し、OB 会のオルレア会様からは多種、大量の花苗をご提供いただき本当にありがとうございました。私達が育苗したのも併せて 1500 苗を超える花苗を準備し、20 人のグループ員全員で販売活動を実施しました。当日は晴天で販売開始前に多くのお客様の列ができて、お目当ての花苗をカゴいっぱいにご購入いただき、午前中は売れ行きも順調でした。午後の後片付けの時には主要な花苗は総て完売、お客様に喜んでいただけたと思います。来年もオルレア会、グループ員の協力のもと、「花と緑を愛する人々に癒やしと感動を！」をモットーに頑張ります。



◆KSC 書道部

生環 27 期 若松 匡

書道部では師範資格を持つ OB が毎月、神戸市内の 17 の高齢者施設を訪れ「習字教室」を開いています。長年にわたる指導に対し神戸市福祉協議会から今年度の理事長表彰をいただきました。また長老格である鐘築師範がグループの功労賞を受賞しました。今回の報告会では現役生 5 人が各 2 件の作品を展示しました。



◆ボランティア・クッキーの会

生環 29 期 辻上 質吉

チョコチップとレーズンが入ったクッキーを販売いたしました。いつも評判が良くすぐに完売してしまうので、早く買いに来ましたと言われうれしく思います。レシピは代々引き継がれているもので、心を込めた手作りクッキーを児童養護施設などに届けています。



◆木工ボランティアグループ

生環 28 期 芳田 實

木工製品の販売は好調でした。額縁、イーゼルなどは売り切れとなり、さらなる要望もありました。新規の燻製箱もすぐ買い手がついて、今後の出店のモデルになりました。今後もアイデアを練って製作したいと思います。アンケートを取ることも考えています。残念なことに、一番作品の価値が分かる OB が購買に参加できませんでした。学園祭には、来られる状況になることを願っています。



◆絵画ボランティアグループ

美工 28 期 山本 昌昭

現在の会員は 58 人(3 年生が 20 人、2 年生が 19 人、1 年生が 19 人)在籍しています。ボランティア活動報告会では、会員が制作した絵葉書と A4 サイズの小作品の絵画を展示販売しました。たくさんのお客さんに見ていただき、絵葉書が 180 枚、額付小作品が 20 枚を販売することができました。一生懸命描いた自分の作品を買っていただくのは大変励みになります。



◆陶芸ボランティアグループ

美工 28 期 森岡 章治

活動報告会に向けて、3 月から準備を進めてきました。展示品は個性あふれた陶芸作品を約 50 点、販売品は粘土を配布してみんなで作陶しました。展示品は熱心に見ていただき、多くのご質問もいただき、学生の感心の高さに驚きました。また、販売品は多数(約 150 点)ご購入いただき、完売となりました。こうして開催参加の一日は過ぎてしまいました。



◆国際交流友の会

音文 28 期 北村 義雄

ハンドクリームやテーブルマットなど PHD 協会の商品を委託販売しました。ハンドクリームは、ブルキナファソの女性達の自立を支援するため、その国で作られるシアバターを日本に輸入しハンドクリームに製造・販売している団体の商品を、PHD 協会が扱っています。収益は現地の医療・公衆衛生・教育の強化のために使われ、現地の雇用と収入が生み出されています。おかげさまでカレッジの多くの皆さんにご購入いただき感謝です。また、ミクロネシア・ヤップ州の民族衣装を当会コーナーで試着していただきました。



◆シルバーケーキの会

健康 28 期 小藪 孝明

ボランティア活動報告会においてココアケーキの販売を行いました。材料の買い出し、ケーキ作り、包装と、新 2 年生には主体となって初めての経験でした。全クラブ員一丸となって伝統のココアケーキを作ることができました。ふれあいホールでの販売も積極的にアピールして完売することができました。またおいしかったよという声もたくさんいただき、次も頑張ろうと励みになりました。ご購入いただいた皆さま、ありがとうございました。



第 29 期生 新入生歓迎交流会

第 29 期生の「新入生歓迎交流会」が、5 月 23 日から 26 日にかけてカレッジホールで開催されました。27 期生・28 期生の心のこもった交流会が専攻コースごとに特徴をもたせたかたちで開催されました。

健康ライフコース

29 期 長井 信三、下玉利 幸子

健康 29 期生の歓迎交流会が 5 月 26 日（木）カレッジホールで開催されました。諸先輩、学校関係者の暖かい拍手の中を入場し、着席しました。関係各位のあいさつ、先輩の 2 年生・3 年生代表からの歓迎の言葉に新入生一同は、改めて身が引き締まる思いがしました。また、ステージでは KSC フォークソング・クラブの「青春時代」などの演奏や、KSC アロハ・ハワイアンズの演技が行われました。その洗練され熱のこもったパフォーマンスに会場内からも暖かい手拍子が沸き起こり、館内一体となって楽しいひとときが過ぎていきました。また、換気タイムには太極拳クラブの練功演舞が行われ、その指導で新入生も手足を動かして、その一端に触れることができました。



27・28 期生の皆さま、この暖かい歓迎の集いをありがとうございました。来年には、我々が新たな学生を迎える立場になります。新入生一同、クラス代表のあいさつにありました「目指せ皆勤」「まずやってみよう！」の精神でこれからの学園生活を送ってまいりますので、ご指導、ご助言をよろしくお願いいたします。

国際交流・協力コース

29 期 塚原 芳高

5 月 23 日、第 29 期新入生歓迎交流会が諸先輩方及び関係者のもと、カレッジホールにて開催されました。懐かしい 2 列縦隊で入場、暖かい拍手のなか着席し、実行委員長より開会の辞をいただいて開幕しました。メインのアトラクションは、KSC フォークソングクラブの懐かしい曲で始まり、アロハ・ハワイアンズの歌とフラ(踊り)で盛り上がり、中盤は KSC オカリナチームの手話付きの歌と演奏、ザ・カスタネットの管楽器ならびにカスタネットのアンサンブル。そして KSC オールディーズは、皆で歌えるように歌詞をスクリーンに投影して熱唱、最後は校歌の全



員合唱で幕を閉じました。日頃の練習の成果を発揮され、冒頭の歓迎あいさつで語られた一節の『生涯現役』を体現された熱演で、私たちを歓迎していただきありがとうございました。私たちは諸先輩方から贈られたエールを胸に、これから多くの仲間作りと交流の輪を広げ、学園生活を有意義な時間にしたいと思います。

生活環境コース

29 期 垂井 剛、増本 千代四

生環 29 期生の歓迎交流会は、5 月 23 日カレッジホールで開催されました。

27 期生代表の方からは、クラブ活動、ボランティア活動、地域交流活動に参加し、充実したアクティブな学園生活を送って欲しいとお言葉をいただきました。



歓迎アトラクションとして、人形劇、太極拳、ザ・カスタネット、オールディーズクラブの熱演を楽しませていただきました。

クラブ活動を通じて新たな挑戦や友達作りができ、日々の生活が豊かになると感じました。

29 期生代表からは、交流会開催に対するお礼の言葉がありました。28 期生代表の方からは、「いくつになっても夢を持って」とのエールをいただきました。

27 期生、28 期生の皆さま、ありがとうございました。これからの 3 年間、「再び学んで他のために」をモットーに、新たな出会いと学びを求めて充実した学園生活を送りたいと思います。

総合芸術コース（美術・工芸専攻）

29 期 酒井 ヒロミ

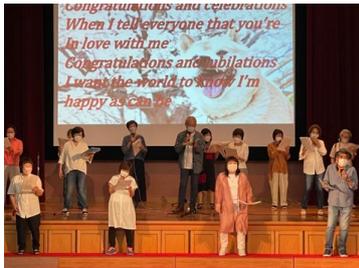
入学式を終え、ゴールデンウィークも終わりましたが、まだ学園生活には不慣れな面があります。美術工芸という専門的なことを学ぶコースに入って良かったのか？と考えてしまいます。そんな不安定な毎日でしたが、新入生歓迎会に参加して、よし！頑張るぞ！と前向きになりました。



卒業生の方々の卒業制作の数々の作品がスクリーンに映し出される度に会場がどよめきます。キレイ！すごい！とため息が出ます。

新入生の私たちはまだ粘土をこねたり、デッサンをするために鉛筆をナイフで削ったりしています。卒業制作に取り掛かるレベルに到達できるのか、自信がありません。でも、クラスメイトで励ましあって、助け合って、競い合って、世界に一つかない作品を作れるように頑張っていきたいと思います。

コロナ禍で、開催にご尽力いただいた先輩方、事務局の方々、オールディーズクラブの皆さまの心のこもった歌、本当にありがとうございました。29期美工コースを今後ともよろしく願いいたします。



総合芸術コース（音楽文化専攻）

29期 佐野 修、大野 豊子

音楽文化の歓迎交流会は、5月24日開催されました。私たち29期生は2・3年生が見守るなか入場、大きな拍手に照れくさくも心を弾ませました。



まずは、2年生「昴28」チームの Believe など3曲、きれいな透き通った声とハーモニーに魅了されました。そして私たち「アンダンテ29」、入学早々合唱披露という課題に直面し、指揮や伴奏のほか奇抜で楽しい企画をと、全員楽しみながらも真剣に取り組みました。季節の童謡メドレーを、お笑い芸人のギャグやずっこけの振りなどを交え、思いっきり声を出し、1年生、を演じることができたような気がします。次は3年生「エール27」、軽音楽を取り入れ70年代を彷彿とさせる「太陽がくれた季節」のほか、震災復興支援合唱として知られる「あすという日が」など美しいピアノ演奏にのって完璧に表現されました。さすが3年生と、脱帽です。そのあとは、水戸黄門のアトラクション、助さん・格さんからのインタビューに、1年生は一緒に「楽しみを求めて」入学したと、今後の活動に大きな期待を寄せていました。事務局スタッフをはじめ先輩方の工夫とご苦労に感謝しつつ、今後有意義なカレッジライフを送りたいと思っています。



助さん・格さんからのインタビューに、1年生は一緒に「楽しみを求めて」入学したと、今後の活動に大きな期待を寄せていました。事務局スタッフをはじめ先輩方の工夫とご苦労に感謝しつつ、今後有意義なカレッジライフを送りたいと思っています。

総合芸術コース（園芸専攻）

29期 浜 一司、貴志 典子

5月25日は園芸専攻の先輩の皆さんから心のこもった新入生歓迎交流会を催していただき、入学以来大変お世話になっているサポーターの方々、前垣さんとご一緒にとっても楽しいひと時を過ごさせていただきました。



たくさんのきれいな寄せ植え、そして大きな拍手で迎えていただき、28期代表から温かい励ましの言葉をいただきました。また、学園生活の紹介ビデオで園芸専攻の授業内容を細かく説明していただき、うすぼんやりしていたものを具体的に与えることができ大変参考になりました。

アトラクションでは、懐かしいフォークソングやオカリナ演奏、そして落語まで披露され幅広い活動とレベルの高さに驚かされました。

入学してからの1か月半はあっという間に過ぎていきました。今後100点満点とはいきませんが、授業その他の活動に精一杯取り組みKSCでの時間を充実したものとしていきたいと思っています。鉢植えのマーゴルドのプレゼントありがとうございました。

総合芸術コース（食文化専攻）

29期 柴田 興家、野中 信一

5月25日、食文29期生の新入生歓迎交流会が、カレッジホールで開催されました。入場時、在校生から拍手で迎えられて感動しました。



コロナ禍が終息せず、さまざまな制約がある中で開催準備にご尽力いただいた関係者の皆さまに深謝いたします。開会の辞、来賓の祝辞、アトラクションは民謡同好会、オカリナチーム、オールディーズのパフォーマンスが披露され、在校生の熱演の舞台と、新入生の手拍子で盛り上がりました。

その後、27期生、28期生による映像を用いての学園生活の紹介がありました。27期生の女性ペアによる昨年の学園祭のエピソードや苦労話は掛合い漫才風で面白く聞き惚れました。諸先輩方からは、「催しやクラブ活動に参加することで、学年・クラスを超えた人付き合いができて本当に良かった」、「培った絆を大切にしてください」との言葉をいただきました。新入生一同、有意義な学園生活にして行きます。これからご指導よろしくお願いいたします。

園芸専攻 28 期(園芸の魅力と仲間たち)

園芸 28 期 長谷川 壽男

園芸コースはカレッジ玄関前の花壇と道路添いの農園に圃場ほしやうと果樹の実習場所を保有していて、3 学年の各班が自主管理・栽培を



しています。花壇では美しさを競い合いながら育成し、農園では自主畝が提供され、学生に野菜の選定・栽培が任されていて、おいしい野菜を収穫し、味わう喜びを体験できます。学園祭では3 学年合同でコースとして出店し、農園で栽培したサツマイモや花・野菜苗、鉢物を来客に廉価で提供しています。

これらの実習を通して班内の意思疎通が円滑となるほか、学年、さらにはコースとして一致団結が図られます。

園芸コースのメンバーとは、汗をかき、さまざまな経験を共に過ごす学生時代の3 年間に留まらず、これからも一生の付き合い(腐れ縁?)が続く気がしています。

園芸専攻 29 期(園芸への第一歩)

園芸 29 期 戎居 宗春

29 期園芸 34 人(男性 14 人、女性 20 人)が入学して早いもので2 か月が経ちます。まずは、最初にグループ(班)をくじ引きで決めました。グループの皆さんのお名前と顔は、一致してきたのですが、まだまだ全員となると覚えきれない状態です。

授業は、講義と農園での実習です。講義では、園芸の基本として土壌(PH:酸性、アルカリ性)、肥料(元肥、追肥)、水やり、病害虫など覚えることがいっぱいあります。

実習は、農園にて野菜作りとして各班の仲間です。ラディッシュ(はつかダイコン)の種まきから生育管理(水やり、間引き、施肥)を行い収穫しました。今は、スイートコーン、ナス、トマト、ピーマンを育てています。また、花壇の講義後に、各班の仲間です。シルバーカレッジ玄関前の花壇に植え付けを完了しています。シルバーカレッジに来られる方の目の保養にでもなるような花壇にしていきたいと思っています。



美術・工芸専攻 28 期(やってみることが大切!!)

美工 28 期 亀井 平

私たち 28 期は昨年3 週間程、緊急事態宣言のため、休校、オンライン授業も経験しましたが、ほぼ順調に授業を受けることが



できたと思います。4 月の進級に始まり、役員交代、歓迎交流会など、一連の行事も一段落してクラスも落ち着きを取り戻し、改めて作陶・絵画に向き合う日々です。「器は使うもの、絵は見るもの」とばかり思っていた自分が今、粗練り・菊練り(硬さを均一にし、空気を抜く作業)をへて、ひも作り(ひも状の粘土を巻き付け積み上げていく方法)で花器を作っています。5 月からは電動ろくろの使い方の勉強も始めました。また、絵画では昨年暮れから油絵に挑戦中で、人物画と静物画に分かれて制作に取りかかっています。

未だ粘土が部分的に厚すぎたり、絵画ではガラスの透明感が表現できなかつたりしますが、「やってみることが大切!!」と、いろいろ教えてくれる28 期の美工仲間とシルバーカレッジ入学を勧めてくれた家族に感謝する日々を過ごしています。

美術・工芸専攻 29 期(自力で創作!!)

美工 29 期 中川 博司

「陶芸」授業は赤松先生。土練り、手びねりで碗を作ります。粘土はまず土練り。荒練り、菊練りで空気を抜き、手回ろくろを使い、碗にコーダイを作ります。「先生、コーダイって何ですか?」、「高齢者大学ですか?」、「京都の秀吉とねねの高台寺ですか?」と質問していた者も、今では碗の底土が20mm 厚なので削り高台、5 mm なので付け高台にすると云えるくらい上達。白化粧、呉須で下絵付け、窯で素焼き、そして釉薬掛け、本焼きと進みます。「自力で創作すること、上手な人の手を借りない」、これだけは守ることとされています。授業中居眠りはできません。



「絵画」授業は、勅使河原先生と楢田先生。HB から6B の鉛筆でうす塗りから濃い部分へグラデーション、練り消しで白抜き技法を学び、イーゼルを立ててモチーフの基本形どおり鉛筆画を描きます。「全体の構図を考えて」、「透明や陰影、質感の表現に工夫して」などと指導があります。構図決めは歓迎会のとき先輩からプレゼントされたデスケル(デッサンスケール)を使います。鉛筆画は全員のを並べてみんなで批評。「うまいなあー」、「陰影が描かれていて立体感がある」、「透明感がある」などの感想。この鉛筆画をフィキサチーフスプレーで固定、水彩絵の具で彩色していきます。モチーフを写実的に描くには程遠く、うまく着彩できるかなあ〜!



国際交流・協力コース 杉山 精一先生

元神戸外国語大学准教授(本年退職)

現在は関西学院大学・神戸大学で非常勤講師を務め、本年4月本学の講師に就任
講座名は『世界における子供の貧困』その他に3年生のグループ研究の指導。専門は教育学
1956年愛知県名古屋市生まれ65歳。神戸市西区在住

「誰かの役に立っているという実感。これが再生の鍵です」

激しい内戦があったウガンダには、多くの子供兵がいて、彼らは誘拐され、銃を持たされ、人を殺せと脅されるそうです。そんな苛烈な経験を持つ子供兵をなんとか社会復帰させてあげたい、そんな思いのこもった言葉です。

行動派

履歴には哲学科出身・教育学博士・道徳教育論など、我々では一步引いてしまうような単語が並んでいます。しかし、初対面での印象はがらりと変わりました。柔らかな物腰、ていねいな口調、真摯に答えて下さる誠実さ、優しさも伝わってきます。また、同時に先生が並外れた行動派であることもわかりました。

訪れた場所

ホロコーストの象徴「アウシュビッツ」、ジェノサイドが起きた「ルワンダ」、冒頭に書いた「ウガンダ」。とくにアフリカには何度も行かれています。2度の大病のため不自由になったお身体で、死ぬと思う体験を何度もしながら。

出会い

この言葉が何度も出てきます。ご自身も多くの出会いに導かれたと考えておられ、外大でも多くの方を招いて、学生達と交流の機会を作ってられました。「成長、学び、すべてに出会いが力を貸してくれる」と言われます。

教育への情熱

インタビュー全体を通して先生のお気持ちは強く伝わってきました。学生たちの成長を心から願い、新しいことをどんどん企画されていました。生徒指導に奔走する指導主事との交流、「教職サロン」の設置、「スクールサポータ」「学校インターンシップ」の導入など、活動は多岐にわたります。

本学で私達に伝えたいこと

「人に会いに行きましょう」、「イベントを企画し、発信しましょう」この2点をあげられました。まさに行動派の先生ならではの言葉です。先生の多彩な経験と人脈は、私たちの大きな力となるでしょう。私も先生とのこの「出会い」を大切にしていきたいと考えています。

(28期 岸本、29期 塚原、伊賀)



音楽文化専攻 山中 佑起子先生

神戸市出身。大阪音楽大学打楽器専攻卒業

卒業後は演奏活動や後進の指導を行っております。音楽活動はクラシック音楽から始まりましたが、ここ20年はジャズのライブ活動も行っております。

シルバーカレッジでは1995年1期生、グループ学習卒業演奏から27年間パーカッションアンサンブルを指導しています。

打楽器に出会われたきっかけは？

幼稚園の課外授業でマリンバ教室があったので、母に勧められて5歳からマリンバを始め、やめたいと思ったことが無く、音楽の側にいたいと中学生の頃から思っていました。

音楽を離れたときの趣味や特技は？

中学・高校と陸上部で中距離を走っていました。高校2年からは音大に進路を決めて、ピアノなどのレッスンにも通う高校生活でした。

最近は車の運転が好きで、時々ドライブをして気持ちをリセットしています。おいしいものを作ったり食べたりするのも好きで、お料理の番組や旅番組もよく見て気分転換しています。

シルバーカレッジで1番のできごとは？

音楽を通して色々な人と出会えてつながれる、言葉を越えてコミュニケーションできるのが音楽の良さだと思っています。小学校の担任の先生とシルバーカレッジで再会し、指導させていただいたことが印象深い出来事です。

カレッジ学生へのメッセージ

シルバーカレッジの学生のみなさんは前向きでとても熱心です。グループ学習、音楽を通して変化されていくことをとても「素敵だな」と感じます。ふたたび学ばれ、新たなチャレンジを続け、素晴らしいカレッジライフをお送りください。

(28期 植村、29期 大野)

K S Cゴルフクラブ “ゴルフは生涯スポーツ”

美工 28 期 山本 昌昭

現在会員数は3学年合わせて55人で、年2回の3学年合同競技会(7、11月)と各学年単位での競技会(年10回程度)を実施しています。近郊のゴルフ場で、多くの参加を得るため平日の授業の無い日に競技会を設定し、会員相互の親睦と融和を図っています。

「高齢者の健康づくりのためにはどう過ごしたらよいのか？」一般的には、継続的に適切な運動をし、頭を使って考え、人と会話をしてコミュニケーションをもつ、興味と好奇心をもつ、目標と夢をもつ、ストレスをためない、と言われていています。考えてみればゴルフというスポーツは高齢者にとって、健康に良い要素を多く備えたスポーツです。1ラウンドの距離は直線で約6,500ヤード(約5.9km)のコースだとすると、カートに乗らずに歩けば約9,000歩(身長170cmの歩幅が63cm)になるが、私の場合ショットがまっすぐ飛ばないのでカートに乗っても1ラウンド12,000歩以上歩き、基準の8,000歩以上をクリアできます。4人の仲間と会話をしながらラウンドし交友を深められます。クラブの選択、打つ強さ、打つ方向、グリーン上でどれくらい曲がるかなど、いろいろ考えます。また仲間にショットを褒められてうれしくなります。そしていくつになってもベストスコアと飛距離を出したい目標と夢を持てます。目標もてるから練習をして努力もします。自然のなかで行うスポーツで森林浴と目に良い緑を見ながらのラウンドで、気分もリフレッシュできストレスの解消になります。

ゴルフはいくつになってもできる生涯スポーツですし、いつまでも健康を維持するための要素があるように思います。皆さん健康寿命を長く保つためにゴルフクラブを振りながら、仲間と一緒に自然の中を適度にウォーキングしましょう。



27 期生
ゴルフ競技会



28 期生
ゴルフ競技会

うまいもん倶楽部 “男だけの料理倶楽部「人生100年時代 男も料理に取り組むべし！」”

健康 28 期 外池 兼二

「男子厨房に入るべからず」は昔の話です。今は男女平等、家庭円満のために男も料理に取り組むべき時代になってきました。しかし、カレッジの男子学生の中には奥さんから「亭主元気で留守が良い！」じゃないですが、自宅にいると「家にいられると昼食を手抜きできない」と言われて、粗大ゴミ扱いされます。また、いまだに自分が食べる簡単な食事の用意ができない方もおられます。そこで、男性だけの「うまいもん倶楽部」の存在がクローズアップされます。男性だけで準備し、調理し、喰らい、後片付けも実践する人気の料理倶楽部です。会員の大多数を占める初心者から、自称「腕に覚えがある」ベテランまで、カレッジの調理実習室で誰への気兼ねもなく、和気あいあいと男の料理を楽しめます。初めて包丁を手にする人も心配ご無用で、卒業するまでにはちゃんと料理もできるようになり、奥さまの喜ぶ姿が目に見えるようです。

新そばの時期には人気のそば打ち体験、季節毎に行なわれる外食研究会での親睦も楽しいイベントです。

また、入部者は自動的にボランティアグループ『シルバーケーキの会』の会員になり、ココアケーキを焼いて、ボランティア活動にも参加できます。

3年間「うまいもん倶楽部」に在籍された方には、卒業する時、記念品として刃物町「小野の三徳包丁」に名前を彫っていただいたマイ包丁を記念品として贈呈しています。

下は、5月調理実習での風景と、調理中(ささみ巻き塩麴味)の一場面です。



手話ソング “笑顔 と 感動”

生環 27 期 納 文男

「手話ソング？」初めて耳にする方が多いのではないのでしょうか。私も、シルバーカレッジに入学して、初めて聞きました。手話ソングは、①ゆったり②覚えやすい③繰り返し の3点が基本になっています。

- ① 歌のメロディに合わせてゆったりとしたテンポです。
- ② 手指だけでなく、曲に合わせて腕全体、身体全体で、大きく表現します。
- ③ 夢、明日、希望、愛、しあわせ、友達などの繰り返しの言葉(歌詞)を、覚えると、多くの歌に応用できます。

曲は童謡、歌謡曲、フォークソングなどジャンルを問わず幅広く、OB 指導員の下、練習しています。練習曲は「ふるさと」、「小さな世界」、「青春時代」、「365日の紙飛行機」、「いのちの理由」、「今日の日はさようなら」、「手のひらを太陽に」、「四季の歌」、「上を向いて歩こう」などを予定しています。

現在部員の人数は、再入学者も含めて5月末現在、11人になっています。少ない人数ではありますが、全員アットホームな雰囲気です。百聞は一見に如かず 原則的に毎週火曜日に練習していますので、ぜひ見学にお越しください。

4月の入学式から、中庭でのパフォーマンス、新入生歓迎交流会、ボランティア活動報告会、学園祭などさまざまなシーンで、活躍の場があります。学外でも、福祉施設、保育園、児童館などを訪問して、それぞれで歓迎されています。昨年度は、コロナ禍でもあり、訪問はできなかったのですが、映像を撮って、施設の皆さまに見ていただきました。コロナが終結の折には、ボランティア活動にも力を入れていきたいです。

皆さまに笑顔と感動を与えられるよう手話ソングは頑張っていきます。



楽遊グループ（銭太鼓） “音楽に合わせて楽しく振ろう 銭太鼓”

園芸 27 期 八嶋 日出子

楽遊グループ（銭太鼓）は毎週水曜日にOBの指導のもとに練習し、施設への訪問や神戸まつりなどのイベントに参加しています。

銭太鼓は出雲地方に伝わる民族的楽器です。右手に持つ赤い房は太陽を、左手の白い房は地球を象徴していると言われ、天と地の恵みを表しています。

この2年間はコロナ禍の影響により、施設への訪問やカレッジ外でのイベントに参加することができませんでした。今年の5月、メリケンパークでの神戸まつり代替イベント「KOBE 元気まつり 2022」にOBの応援出演を得て参加することができました。青空のもとステージ上の赤毛氈あかもうせんに座り、久しぶりに思いっきり銭太鼓を振れて楽しかったです。

皆さんは銭太鼓を「カッコイイ」でも「難しい」「足が悪い」などと言っているかもしれませんが、なかなか入部されません。銭太鼓は特に難しいことはないのです。音楽に合わせて銭太鼓を振るだけです。コツを覚えれば、すぐに振れます。色々な振り方がありますので興味を持つと楽しくなります。



人は何歳になっても向上心はあります。老いている暇はありません。卒業してもOBの楽遊クラブ・銀雅に入れます。いつまでも銭太鼓を振れます。

今からでも遅くはありません。頭を使い、銭太鼓を振って若返りましょう。皆さまのご入部をお待ちしています。



4月中庭パフォーマンス

1月ジョイラックデー



グループわ だより

第 19 回定期総会開催（5 月 28 日午前）

この 2 年はコロナ対応のため、人数を制限しての定期総会でしたが、今回は 3 年ぶりにカレッジホールにて 177 人が出席して開催しました。総会の議題は、令和 3 年度の事業報告・決算報告と令和 4 年度の役員選任および事業計画・予算を審議、質疑応答を経て、すべて原案通り可決・承認され、南理事長をトップとする新役員体制がスタートしました。また、総会に引き続き、令和 4 年度功労者表彰式が行われ、7 人の方が表彰されました。



交歓会開催（5 月 28 日午後）

定期総会后、3 年ぶりに交歓会をカレッジホール及びふれあいホールにおいて開催しました。日頃はボランティア活動のため練習を重ねている 13 のグループがステージでその成果を披露、ふれあいホールでは 5 グループによる展示販売やパネルや動画による展示をおこないました。当日は約 400 人の会員が来校、ステージや展示・販売を楽しみました。中には久しぶりのカレッジで懐かしいとの声も聞こえました。



グループわ で一緒に活動しませんか。
OB が活動しています。
在学中でも入会可能・大歓迎です！
活動の詳細は、web サイトへ
<http://wa-net.jp/group-wa/>



上田 悦子先生のジョイフルクッキング



《材料》

バター（食塩不使用）	180g	ベーキングパウダー	小さじ 1/2
砂糖	140g	ココア	30g
卵(M)	3 個	バナナ（1 本半）	150g
薄力粉	180g	チョコチップ	50g

《下準備》

- バターは室温に戻しておく。
- 薄力粉、ベーキングパウダー、ココアはあわせてふるっておく。
- バナナは 2 ～ 3 mm の厚さに切っておく。
- オーブンは 180 度に温めておく。

《作り方》

- バターをボウルに入れてクリーム状にし、砂糖を加えて白っぽくなるまで混ぜる。
- 卵を溶きほぐし、3 ～ 4 回に分けて加えて混ぜる。
- ふるっておいた粉類を加えて混ぜ、少し粉の残っている所に、バナナとチョコチップを加えて混ぜる。
- 二等分にして型に入れ、オーブンで約 30 ～ 35 分焼く。

《先生のコメント》

型の 7 ～ 8 分目が理想。1 週間はもつ。

夏場は、バナナの部分からカビが生え傷みやすいので、保存は冷蔵庫か冷凍庫で。

バナナとチョコチップのケーキ

17cm のパウンド型 2 本分

（食文 28 期 矢野 みどり）

《俳句クラブ》

【兼題】四季の俳句



刻銘碑なぞる媪や沖繩忌	谷口 裕
行く春や口滑らかに古物商	中井 芳樹
山滴る城の石垣青さびて	大高 松
鬪鶏の眼の爛々と悲しけれ	戸田 文章
数式が解けて一息ソーダ水	佐野 喜代美
月見草無沙汰の娘母は待つ	山田 浩子
テラス席午後の紅茶に風薫る	貞苺 茂
腕捲り砂掘る子らや夏立ちぬ	千足 恵美子
柏餅味より先に葉の香り	村上 泰民
田植えする園児全身泥だらけ	寺尾 隆志

《川柳くらぶ》

題「残る」



探す酒残りこれだけ ああ悲劇	吉田 謙
残る日を指折る私プーチンも	吉田 謙
すべり台おしりが残りケツ打撲	名定 博
落花の群れ頭上に残る紅の花	名定 博
残り福貰い損ねた招き猫	千足千
雑詠	
何できる 我が無力知るウクライナ	吉田 謙
コロナには負けるな俺の基礎疾患	吉田 謙
薫風と白いうなじとズック靴	名定 博
古希過ぎてお散歩アリの仲間入り	名定 博
犬十四歳 親の介護をしています	千足千
べた踏み坂 先は妖怪棲む港	千足千

《応募作品》

短歌

寺尾 隆志（美工28期）

しあわせの村に流れるピアノの音

そして聞こえた混声合唱

車椅子新緑の中押していく

介護職員輝く若さ

下校時の子ども見守る我らたち

シルバーカレッジ地域の仲間

川柳

寺尾 隆志（美工28期）

デッサンし似ても似つかぬビーナスに

ろくろしてくねくねとくずれゆく

授業よりクラブ忙し人気者

俳句

岸本 修治（国際28期）

みとせぶり町に溢れるだんじり囃子

町を曳く疫病退散八タキ振る

練の中だんじり担ぎ仰ぐ月

雨上がり水面かすめる燕たち

俳句・川柳募集中！

投稿はこちらから



第27回学園祭開催に向けて

第27回学園祭総合委員長 健康28期 古田 説子

第27回学園祭の開催日は、「10月8日(土)」です。

今年度は、かつての3,000人規模だった学園祭ではなく、在籍する800人弱のカレッジ生が力を発揮し、カレッジ生によるカレッジ生のための学園祭、カレッジ生自身が、楽しむ学園祭となるよう変革を目指しています。

今年の学園祭スタッフ活動は、各クラス選出の現在2年生の学園祭委員が1年生の3月に事務局よりお声がかかり、第27回の方針説明を受けたところから始まりました。

それは、委員会の組織を「ステージ・展示・出店の各委員には、参加団体から委員長・副委員長・委員・支援者を選出して、今までの各参加団体のノウハウを生かして運営する」ということです。組織改革について、当時まだ私は、ピンと来ていませんでしたが、2年生となり、各担当委員が決まっていき、総合委員長をさせていただくこととなりました。

私を含む総合委員長2人と総務委員長との3人は、昨年度の支援者経験だったことを踏まえ、委員会からの「トップ・ダウン」ではなくカレッジ生全員の「ボトム・アップ」を目標として、4月下旬から各委員会が動き出し、スタッフが決まっていって、分刻みでパソコンをたたき、メールを送受信し、事務局と連絡調整し、参加者の募集、掲示や広報、ホームページへのアップ、委員会

の開催、支援者募集、各方面への説明で、走り回ってきました。

今、各クラスから選出の「総務、駐車場、バザー担当の支援者」は、お願していた人数以上の130人強の方が手を挙げてくださり、参加団体から作る委員会も多くの支援者を得て、動き出しました。

次の「爽風」が出る時期には、コロナ禍の終息と学園祭の成功を祈りつつ、キャッチフレーズの発表やステージのプログラム、出店や展示内容をお知らせすることができます。楽しみにしてください。

なお、今わかっていることは、学園祭開催の資金はバザーの収益が頼りです。ぜひ皆さまバザー商品提供のご協力をよろしくお願いいたします。

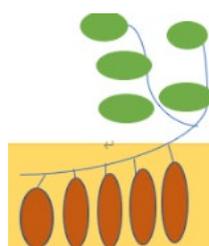
学園祭にむけたサツマイモ栽培のご紹介

シルバーカレッジ学園祭において例年園芸専攻の学生は、花苗や野菜苗などを栽培し出品販売しています。中でもサツマイモの出品は完売の人気とのこと。そこでサツマイモ栽培とそのエピソードを園芸28期学園祭サツマイモ栽培担当リーダーの富松一隆さんに伺いました。

栽培場所はシルバーカレッジの南側道路の向かいの農場です。4月下旬に耕運機でまず畝を耕し、土質を整えるため堆肥を入れましたが、サツマイモは肥料をあまり必要としないのでそれ以外の施肥はおこないませんでした。その後マルチングといって、雑草の発生や、水分蒸発を防ぐため、畝の地表面を黒いビニールで覆って苗植え前の畝ができました。

5月中旬にサツマイモの苗植えをクラスのメンバーで行いました。サツマイモは茎苗を土に挿して植えると発根して株になります。これは栄養繁殖と言い、俗に言うクローン体です。親の性質をまるまるそのまま受け継いでいくという便利な繁殖の仕方です。

芋苗は弦のようで、これを園芸28期生は畝に斜めに植えていきました。そうすると右上図のように芋が連なるように成長しま



す。栽培品目は紅はるかで形が良く、加熱すると糖度が高く甘くてしっとりしているのが特徴です。弦が成長して広がると隣の畝や溝に根が付いてしまうので伸びた弦を切る作業をします。これを「弦返し」と呼び、夏場の少し大変な作業になります。

サツマイモはかつて天候不順の飢饉の時に重宝されたほどで、育てやすい作物とされています。しかし昨年の28期生は植え付け後、強い風雨のため苗の一部が露出して芋が付かなかった株があり、茎や葉が繁茂して見た目は豊作でしたが、いざ収穫すると不作に終わりました。その反省を今年の栽培に活かして、今期はぜひ豊作にしたいと考えています。

収穫時は、芋の外皮に傷がつかないように手掘りの感覚で優しく愛情込めて掘り起こし、水では洗わないようにします。

昨年は1kg 250円で販売させていただきました。カレッジ産直の美味しいサツマイモを今年の学園祭でも楽しみにしていただけたら幸いです。(園芸28期 本橋 平和)

掲 示 板

KSC 男声合唱団 第8回定期演奏会のご案内

KSC 男声合唱団は、「～歌える喜び、伝わる喜び～男声合唱をあなたに」というテーマで、第8回定期演奏会を開催いたします。ご期待ください。

- ・開催日：10月22日(土) 開演 14時00分(開場 13時15分)
 - ・場所：神戸文化ホール大ホール
 - ・演奏曲：ア・カペラの男声合唱組曲「雪と花火」(北原白秋、多田武彦)と男声合唱組曲「月光とピエロ」(堀口大学、清水脩)、ピアノ伴奏の懐かしい昭和・平成の歌「宇宙戦艦ヤマト」、「時代」他
- 指揮を齊田好男先生(神戸大学名誉教授、全日本合唱連盟副理事長)、石原祐介先生(元神戸市混声

合唱団コンサートマスター)、ピアノ伴奏を阪田みゆき先生にお願いしております。

入場整理券(無料)をご希望の方は、往復ハガキに住所・氏名・希望枚数(2枚まで)をご記入の上、9月30日までにお申し込みください。〒651-2242 神戸市西区井吹台東町2-1-2-801 寺地 信夫 宛



事 務 局 だ よ り

◆ 7月・8月の閉館日のお知らせ

8月4日(木)、8月8日(月)、8月25日(木)～26日(金)、8月31日(水)

以上の日は原則として学内への立ち入りはできません。

◆ 図書室の閉館日のお知らせ

7月25日(月)～8月31日(水)まで閉館です。

閉館期間中は、貸出書籍の返却のみ事務局にてお預かりいたします。

◆ 空調設備改修など工事の施工

8月末(予定)まで、学習室8、グループ学習室5、和室の空調設備改修工事及びカレッジホールの電動カーテンの

補修の工事を行います。施工に当たっては、資材置き場の設置、資材の搬入・搬出など皆さまにご迷惑をおかけしますが、設備を更新するための工事であり、ご協力をお願いいたします。また、施工に際しては、施工会社と打ち合わせを行い、可能な限りカレッジの活動に影響が少なくなるよう努めてまいります。

◆ 台風などにおける気象警報発令時の対応

午前8時の時点で神戸市域に気象警報が発令されている場合は休校です(学生便覧Ⅱ 学習の手引き、休校の項参照)。なお、休校の際は、当校のホームページの「緊急のお知らせ」で連絡します(<http://kobe-sc.org/>)。個別の連絡は行いませんので、テレビやインターネットなどの気象情報に注意してください。

図 書 室 だ よ り

本格的な夏到来となりました。一年生の皆さまもそろそろシルバーカレッジに慣れて来られたのではないのでしょうか? 図書室を利用している方も多く、学園生活を満喫されているようです。まだ一度も…、と言う方もぜひ、図書室をのぞいてみてください。「新着図書」や「おすすめ図書」のコーナーも人気があります。きっと夢と希望が広がりますよ!

<新 着 図 書>

- ◆「人気作家15人の陶芸技法 プロの技から学ぶ」
著者 陶工房編集部 出版社 誠文堂新光社

十進分類法による内容表記(751)・陶芸工芸

- ◆「それでも生きていく 不安社会を読み解く知のことば」

著者 姜 尚中 出版社 集英社

十進分類法による内容表記(304)・講演集

- ◆「ユネスコ世界記憶遺産と朝鮮通信使」

著者 仲尾 宏、町田 一仁 出版社 明石書店

十進分類法による内容表記(210)・日本史

- ◆「ハルメク 50代からの女性の暮らしを応援する月刊誌」

著者 —— 出版社 株式会社ハルメク

十進分類法による内容表記(051)・日本の雑誌 女性誌

【編集後記】

2022年度編集委員の体制になって、幸い大過なく3号目の7月号まできました。これは、編集委員間に無言の連携や信頼感ができたことによるでしょう。自分の役割を知り、他者の動きが読めることで、編集作業をストレスなく楽しめるようになってきたと言えるようです。

今月号はボランティア活動報告会の情報を中心とした構成になりました。26ものボランティア団体の活動を紹介できること

はシルバーカレッジの誇りでしょう。報告会に臨席し、活動を喜びとされている姿に共感し、和むものを感じました。

爽風はシルバーカレッジ関係者全員の協力によって成り立っています。いただいた原稿は、読み易さ、分かり易さ、平等に配慮して編集させていただきます。しかし最近、意外と学生間に「爽風」の名が浸透していないことを知りました。「先月号にあなただのクラブの記事を載せましたよ!」答えは「知りません!」、悲喜こもごもの昨今です。 情報誌編集委員会

新入生歓迎交流会 5月23日～26日



健康ライフコース アトラクション



国際交流・協カコース あいさつ風景



生活環境コース 事務局あいさつ



美術・工芸専攻 アトラクション



音楽文化専攻 新入生と対面



園芸専攻 集合写真



食文化専攻 会場風景



会場風景



ロビー風景

ボランティア活動報告会 6月8日



園芸物品販売



ふれあいホール販売



民謡



会場風景



ふれあいホール販売



ふれあいホール販売



混声合唱団



救急ボランティア



人形劇